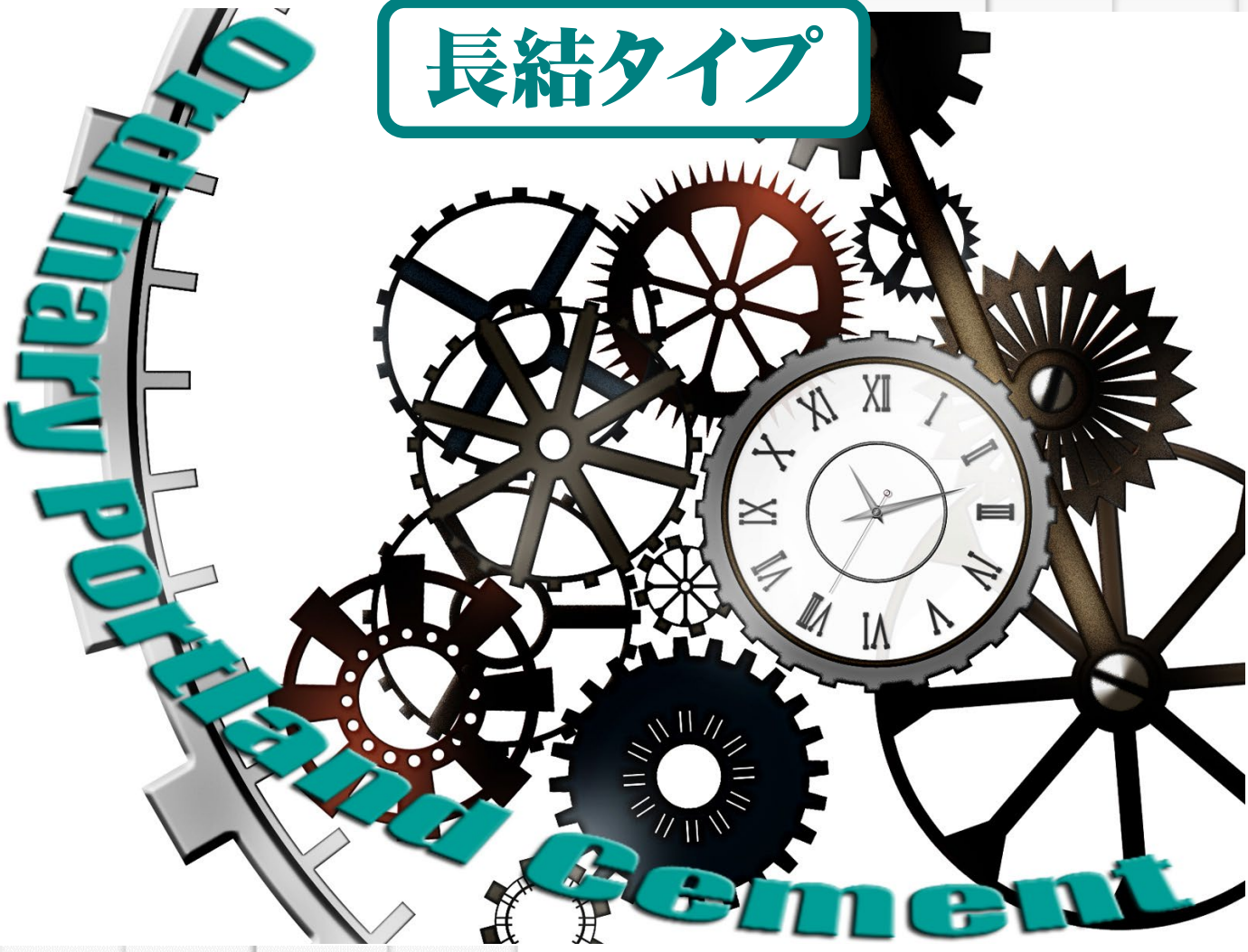
非水ガラス系セメントミルク凝結硬化促進剤

セレクター

SELECTOR®

長結タイプ



普通ポルトランドセメント

三興コロイド化学株式会社
〒481-0045 愛知県北名古屋市中之郷北109
TEL 0568-21-0012 FAX 0568-23-3553

特徴

○非水ガラス系セメントミルクグラウト剤のため、恒久的強度を必要とする地盤安定強化、空洞充填等に有効です。
○一般のセメントミルクと比較するとブリージングは殆どありません。
○ゲル化後の初期強度発現は良好です。
○セメント鉱物系組成物ではありませんのでそれ自体水と反応して硬化する事はなく取り扱いが簡単です。
○ゲルタイムは３０分・１時間・２時間の３種類から選択可能です。

物性

	硬化剤	助剤Ａ	助剤Ｂ	助剤Ｃ
外　　観	白色粉末	白色微粉末		
ｐＨ	11.0±0.5(調合液濃度)	11.7±0.5(調合液濃度)		
真　比　重	2.7	2.2		
溶　解　性	懸濁液	懸濁液		
臭　　気	なし	なし		

配合

型番		練り上がり (ℓ)	普通セメント (袋)	硬化剤 (袋)	助剤使用量 (袋)	ゲルタイム (呼称)
Ｎ６０Ｍ	２液	４００	8	2	助剤Ａ　1	６０分
Ｎ３０Ｍ	１液	２００	7	1	助剤Ａ　1	３０分
Ｎ１Ｈ					助剤Ｂ　1	１時間
Ｎ２Ｈ					助剤Ｃ　1	２時間

取り扱い上の注意

① SELECTORは硬化剤、助剤共にアルカリ性ですので、耐アルカリ性手袋、保護メガネ、保護マスク、液が滲み込まない保護着衣、ゴム長靴等を着用し、衣服や身体に触れないようにして下さい。特に目等の粘膜面への付着、袖口、首筋、靴の中には十分注意して下さい。取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。
〈応急処置〉
・目に入った場合は、多量の水で15分以上洗浄しできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
・誤って飲み込んだ場合は、口の中をよく洗浄しコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて下さい。
その際無理に吐かせないで下さい。その後直ちに医師の診察を受けて下さい。
・皮膚に付着した場合は、直ぐに多量の水で、ぬめりが完全に取れるまで洗浄して下さい。
異常を感じた場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。
② SELECTORの保管、貯蔵に当たりましては、高温多湿とならない場所に保管して下さい。また、水濡れしないように保管して下さい。

荷姿

硬化剤：　１６kg ビニール袋入り
助剤Ａ：　　７kg 紙袋入り
助剤Ｂ：　　６kg 紙袋入り
助剤Ｃ：４．５kg 紙袋入り

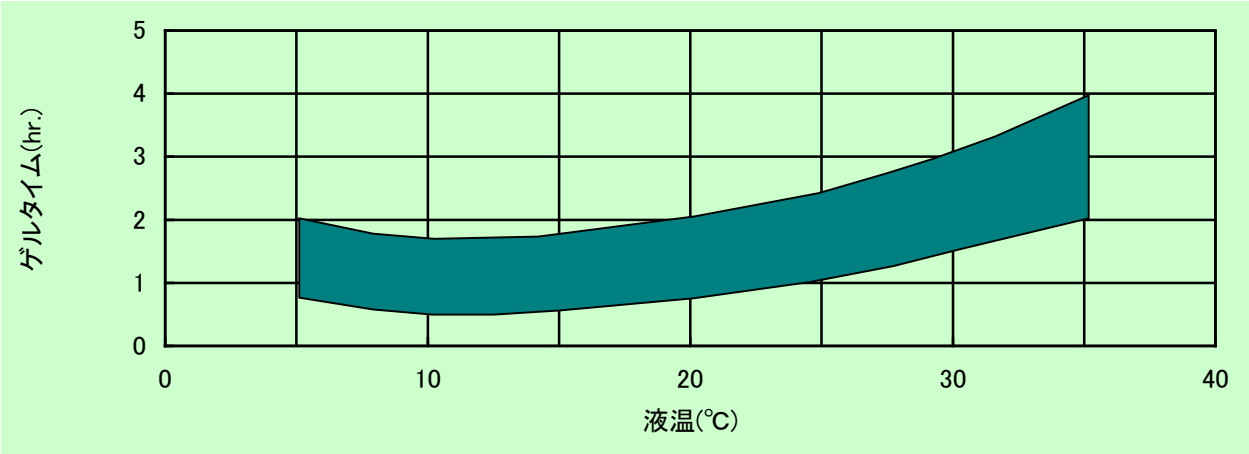
ＳＤＳ　ＳＤＳ助剤Ａ　ＳＤＳ助剤Ｂ　ＳＤＳ助剤Ｃ

配合

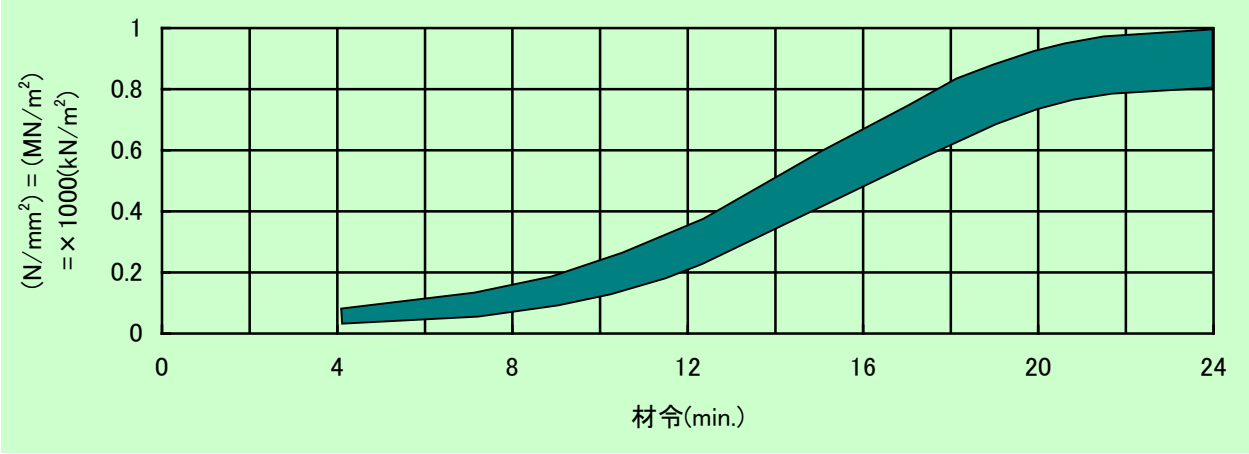
A液（２００ℓ）			B液（２００ℓ）		
普通セメント	２５kg×８袋	２００kg	硬化剤	１６kg×２袋	３２kg
助剤Ａ	７kg×１袋	７kg			
水		１３３．３ℓ	水		１９１．１ℓ

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

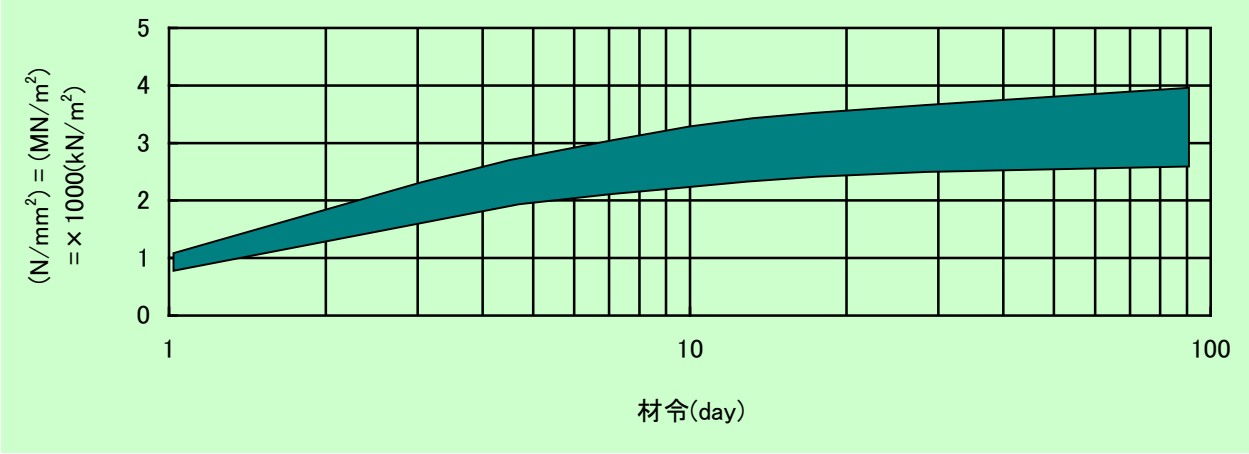
液温とゲルタイムの関係(ブリージング:10%以下)



短時間一軸圧縮強度(20℃型枠中養生)



一軸圧縮強度(20℃湿潤養生)



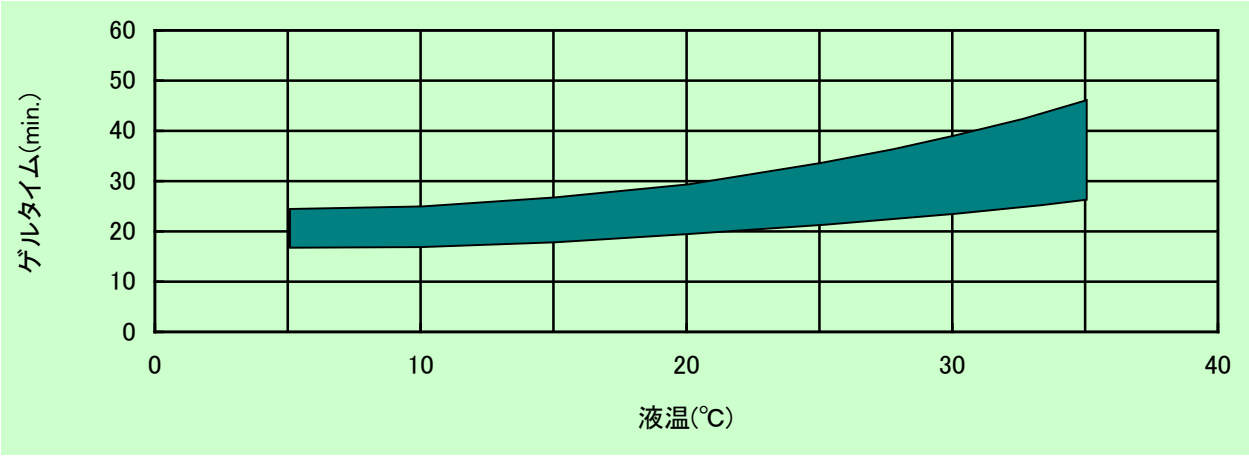
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

配合

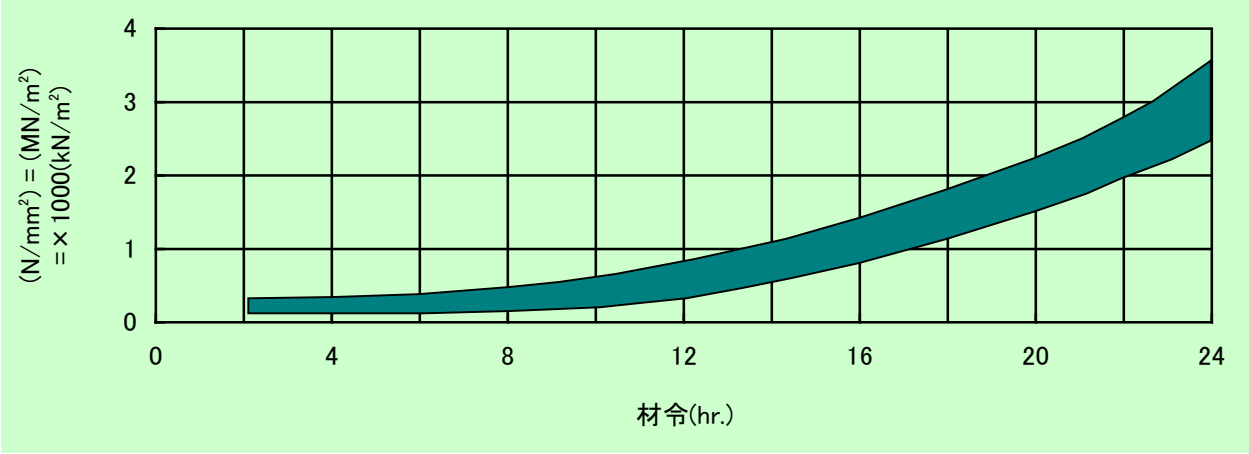
２００ℓ			
普通セメント	硬化剤	助剤Ａ	水
７袋（１７５kg）	１袋（１６kg）	１袋（７kg）	１３７．１ℓ

水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

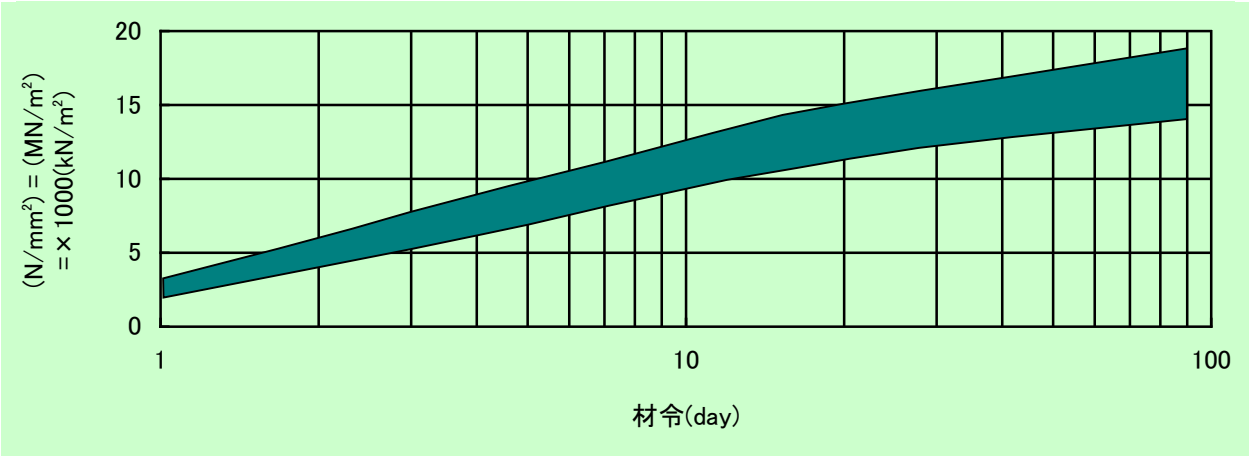
液温とゲルタイムの関係（ブリージングはほとんどありません。）



短時間一軸圧縮強度（20℃型枠中養生）



一軸圧縮強度（20℃湿潤養生）



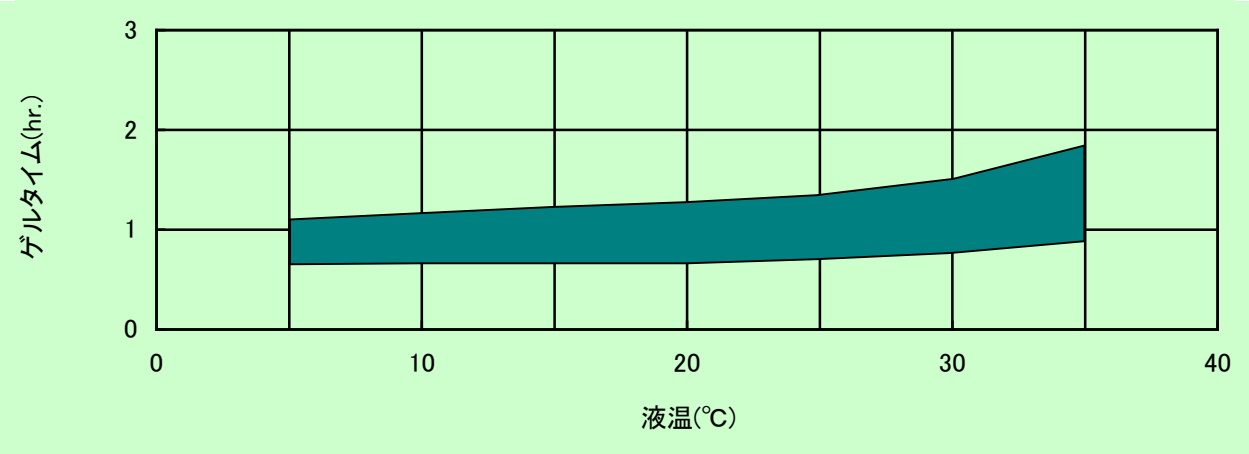
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

配合

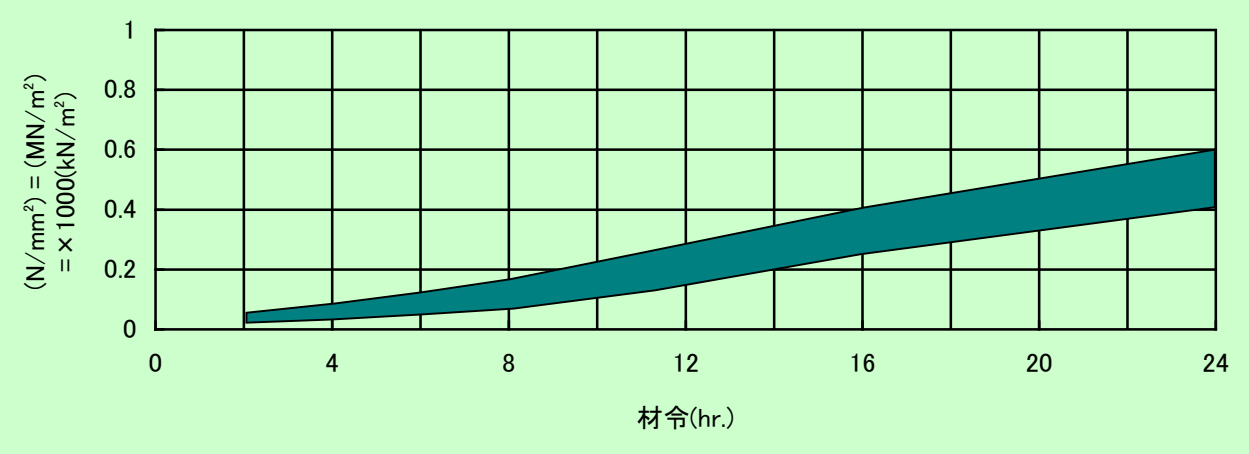
２００ℓ			
普通セメント	硬化剤	助剤Ｂ	水
７袋（１７５kg）	１袋（１６kg）	１袋（６kg）	１３７．７ℓ

水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

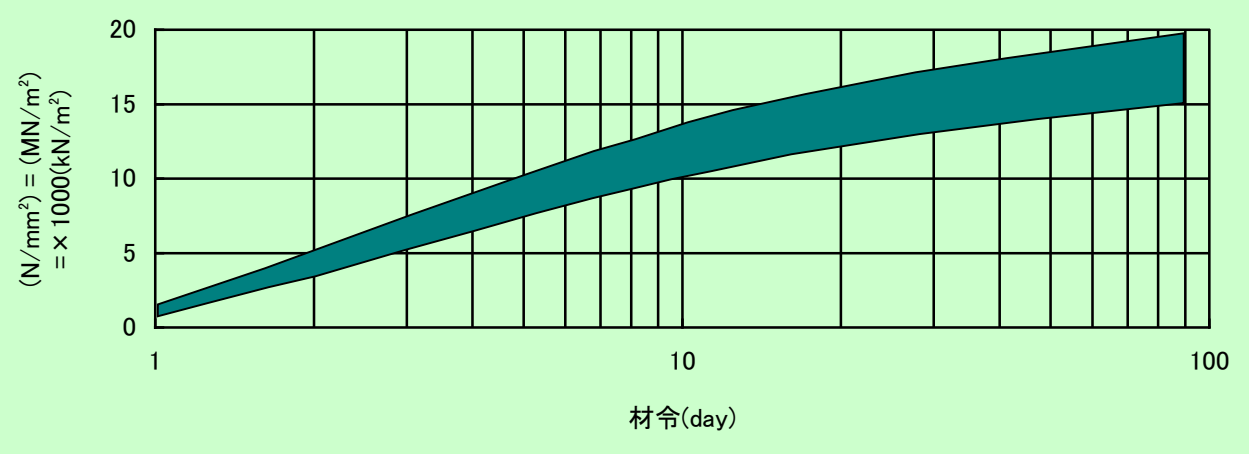
液温とゲルタイムの関係（ブリージングはほとんどありません。）



短時間一軸圧縮強度（20℃型枠中養生）



一軸圧縮強度（20℃湿潤養生）



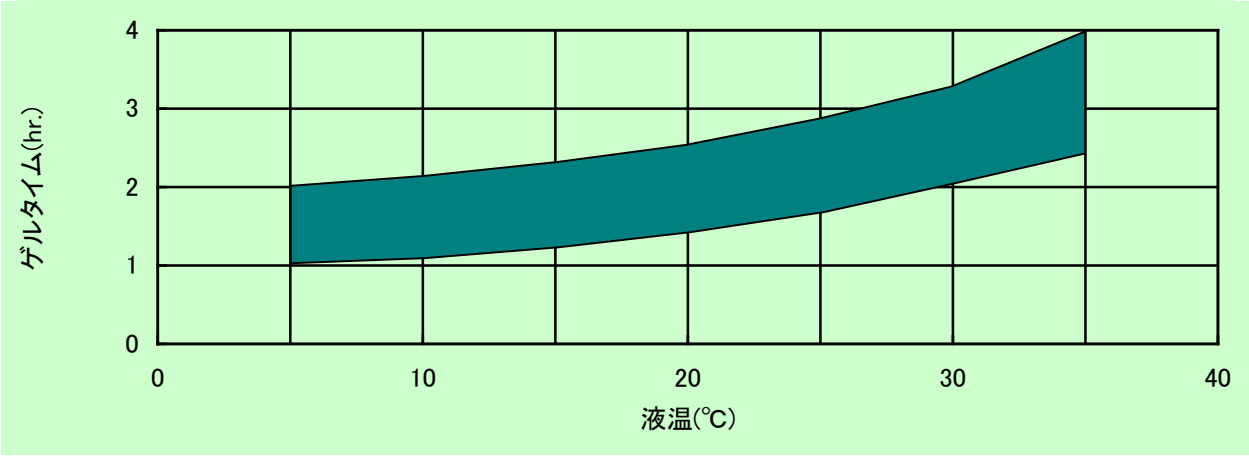
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

配合

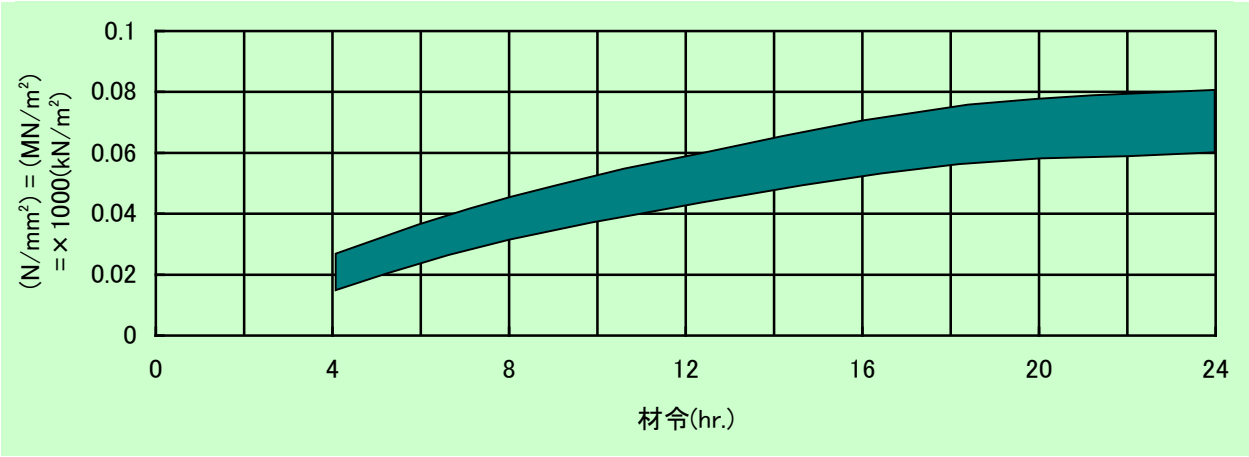
２００ℓ			
普通セメント	硬化剤	助剤Ｃ	水
７袋（１７５kg）	１袋（１６kg）	１袋（４．５kg）	１３８．４ℓ

水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

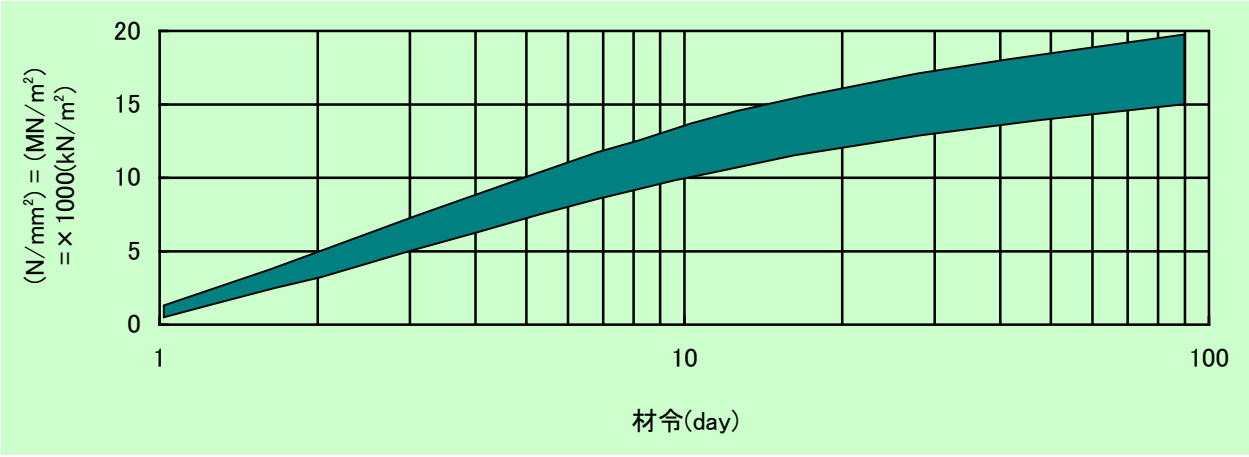
液温とゲルタイムの関係（ブリージングはほとんどありません。）



短時間一軸圧縮強度（20℃型枠中養生）



一軸圧縮強度（20℃湿潤養生）



本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

調合方法

２液タイプ

A液：水 所用量 → 撹拌 → SELECTOR 助剤A → 撹拌 → セメント 所用量 → 撹拌 → A液 分散液

① 所用量の水を張り、撹拌しながら助剤Aを投入して充分に分散させます。
② 更に撹拌しながら所用量のセメントを投入して、均一に分散させA液を調合します。
③ A液は沈降しやすいので、調合後も撹拌機は停止しないで下さい。

B液：水 所用量 → 撹拌 → SELECTOR 硬化剤 → 撹拌 → B液 分散液

① **B液は経時的に沈降しますので、縦型２連撹拌機の使用を推奨します。**
② 所用量の水を張り、撹拌しながら硬化剤を徐々に投入し１～２分撹拌します。
③ 調合後も撹拌機は停止しないで下さい。

１液タイプ

水 所用量 → 撹拌 → SELECTOR 助剤 → 撹拌 → SELECTOR 硬化剤 → 撹拌 → セメント 所要量

① 所用量の水を張り撹拌しながら助剤を投入して充分に分散させます。
② 更に撹拌しながら硬化剤を投入し１～２分攪拌します。
③ 最後にセメントを投入し２分程度攪拌し調合液とします。

溶解上の注意

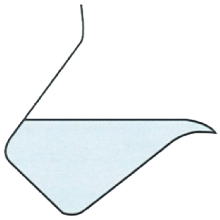
①硬化剤の投入　：一度に投入すると大きな塊となり溶解性が悪くなることがあります。
②水　　量　　：水はやや少な目に張り、最後に 200ℓにして下さい。
③水　　温　　：調合には5℃以上の水を使用して下さい。また、水温が35℃を越えるような場合は、正常なゲルタイムが得られないことがあります。

注入上の注意

①ストレーナー　：調合液への異物の混入を避けるため溶解槽或いは貯蔵槽の出口にはなるべくストレーナーを装着して下さい。
②練り置き時間　：配合により異なりますが、撹拌機内や配管内でのゲル化防止のため余裕を持って注入を完了するようにして下さい。

ゲルタイム測定方法

①容器に調合液を適量採ります。
②容器を時々傾けて流出しなくなった時点をゲルタイムとします。



ゲルタイム測定上の注意

ＳＥＬＥＣＴＯＲ、サンコーハードＥＨの様な珪酸ナトリウムを用いない非水ガラス系セメントミルクグラウト剤では、珪酸ナトリウム系グラウト剤のようなはっきりしたゲル化点は示しません。従って調合液を攪拌し続けたり、頻繁にビーカーを傾けたりするとゲル化し始めた緩いセメントのゲル構造が壊れていわゆる練り殺し状態になり、正常なゲルタイムを示さなくなります。またセメントの銘柄、品質によりゲルタイムはカタログ値と異なる場合があります。

ケミカルクリエーター

薬液注入剤

水ガラス系溶液型　無機
サンコーポール　PSVシリーズ
サンコーポール　SW80 シリーズ
サンコーポール　SW3A シリーズ
グラード5

水ガラス系溶液型　有機
サンコーポール　PSVシリーズ

水ガラス系懸濁型
サンコーポール　SAM－2
サンコーポール　10－L
サンコーポール　L シリーズ
サンコーポール　ソリッド

非水ガラス系懸濁型
サンコーハード　AQ シリーズ
SELECTOR
SELECTOR　長結タイプ

セメント・コンクリート関連商品

アンカーグラウト材用混和剤
GEL　WHITE

セメント凝結促進剤
サンコーハード　EH

水中不分離剤
凝結促進剤　　:AQUA－MATE
非凝結促進剤　:AQUA－MATEⅡ

セメント凝結遅延剤
サンコーノンゲル　No. 200

起泡剤
AIR　PLUS　PM
サンコーネオゾール

消泡剤
サンコーポール　AM

分散剤
サンコー減水剤

その他

粘性土用分散剤
スルーリーⅡ

【 品質管理について 】
当社は1998年に ISO9001（国際品質保証規格）を、薬液注入剤及びコンクリート混和剤の分野に於いて国内で初めて認証取得したことにより、多数のお客様から高い評価をいただいております。
当社では、この認証された品質マネジメントシステムに則り、お客様から信頼される製品を提供させて頂いております。

お願い
◎製品カタログをよく読んでからご使用下さい。
◎三興コロイド化学（株）は常に開発、改良に取り組んでおります。
商品について御意見、御希望が御座いましたら弊社営業部まで御連絡下さい。

SANKO COLLOID CHEMICAL Co.,Ltd.
URL　http://www.sankocc.com
TEL：0568-21-0012　FAX：0568-23-3553

ホームページ

2023.04